

ミーティングスペース：仕事環境はどのように変化しているのでしょうか

現代社会では、人との連携やコミュニケーションは不可欠です。人々は自分のデスクを離れて仕事をしているだけでなく、ほぼ1日中、他のスタッフと一緒に共用スペースで仕事をしています。



古いスタイルから新しいスタイルへ

1985年には、個人の成果のわずか**30%**がグループ内での作業によるものでした。2010年までに、その数字は**80%**まで上がっています。



コラボレーションとイノベーションの一体化

コラボレーションとイノベーションの間には、**81%**の明確な相互関係があります。



ミーティングスペースの利用は遅れている

仕事の共有スペースは勤務時間の**60%**使用されず、個室は勤務時間の**77%**使用されていません。

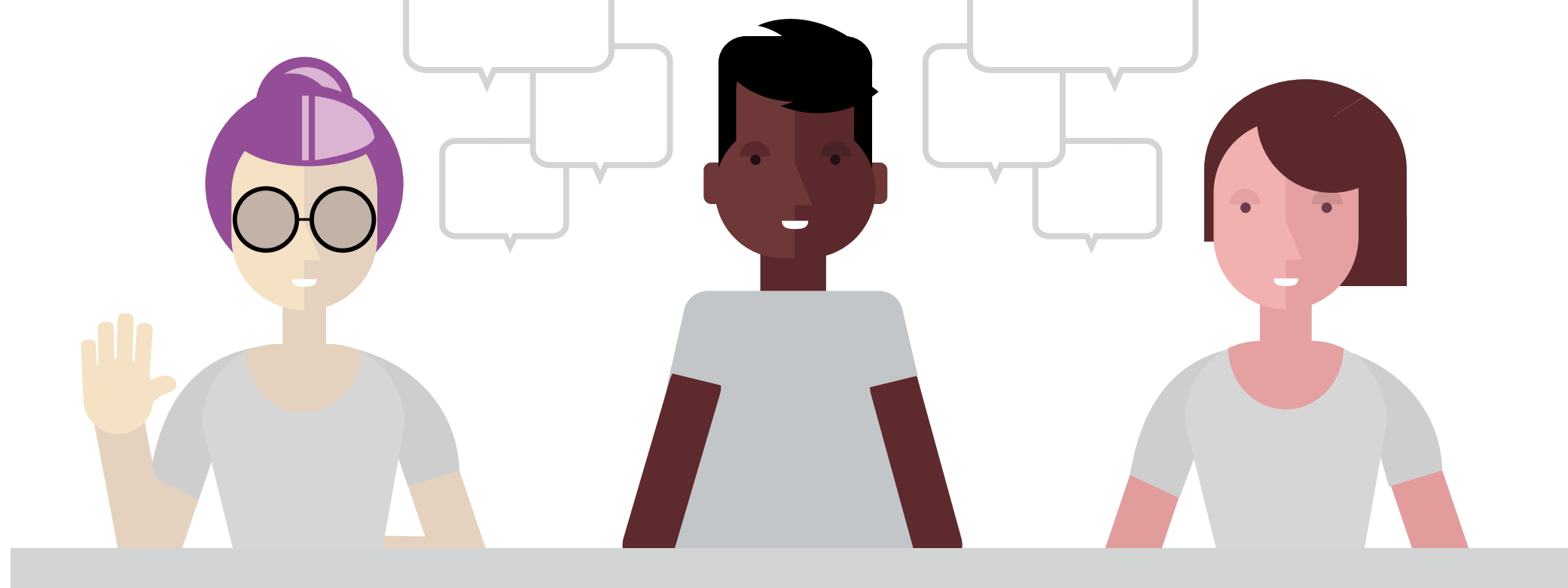
サイズが重要：ミーティングスペースを取り入れる

会議室のサイズに関しては、大きいことが常に良い訳ではありません。

2~3人の会議が、調査した全体の会議の**59%**を占めています。

最も標準的な会議室のサイズは**6人用**です。

こうした最適化された会議スペースは、**ハドルルーム (HUDDLE ROOM)**と呼ばれます。



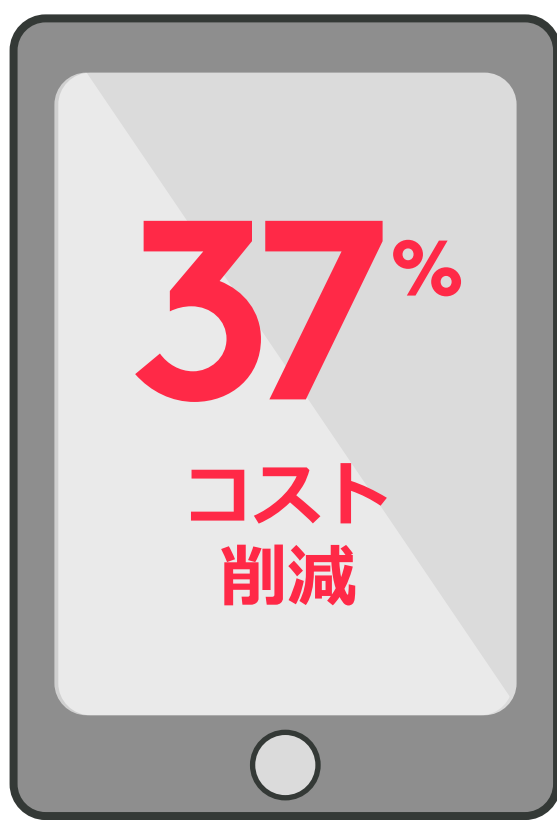
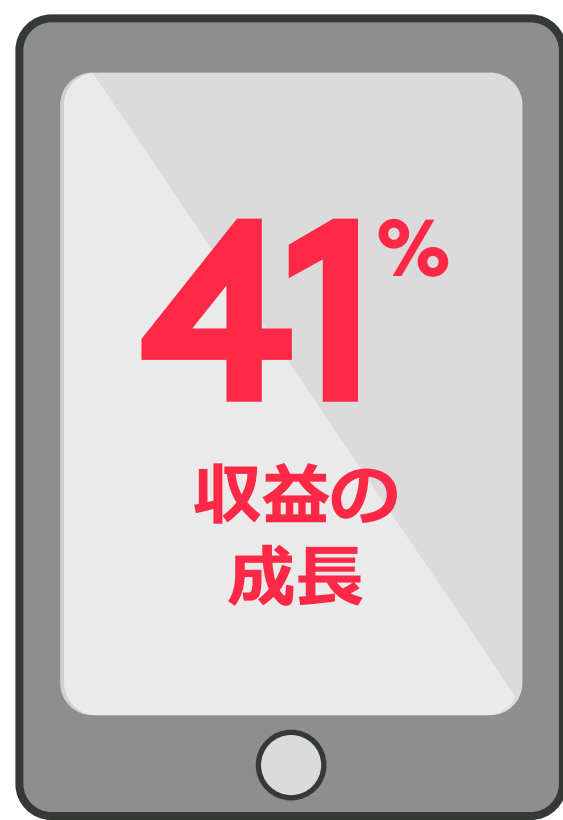
会議とスペース：人々を取り巻く仕事環境

仕事の環境は、ワークフロー、雰囲気、および生産性に影響を与えます。人々は必然的に何に引き付けられるのでしょうか？そして何が機能しないのでしょうか？

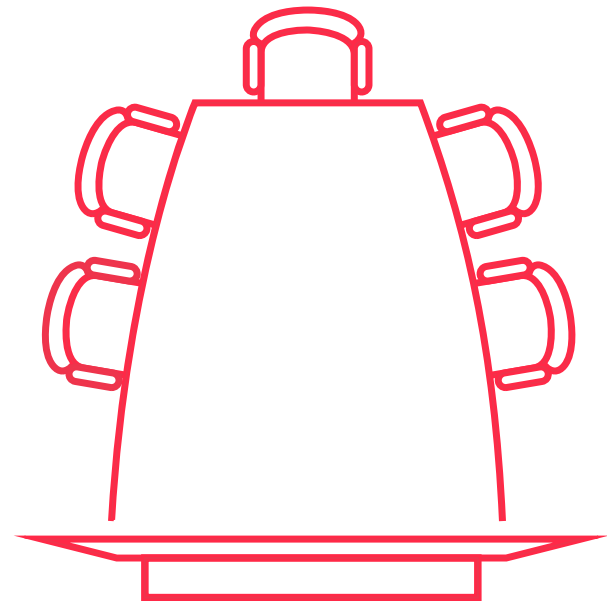
スペースの誤用

従業員は生産性を高めようと試みて、テクノロジーが整っていない大きい部屋の代わりに、テクノロジーが整った窮屈で小さい空間に集まります。

テクノロジーとビジネス統合の直接的な関係



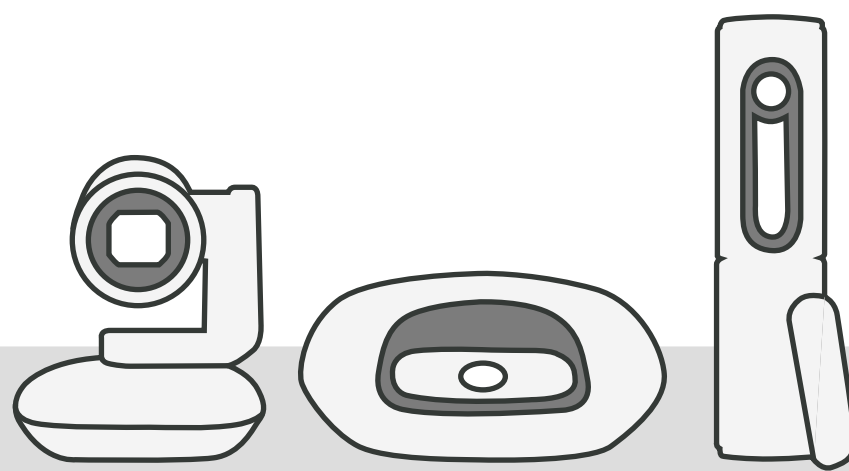
テクノロジーが利用方法に影響を与える



適切なテクノロジーがビジネスの成功を左右することがあります

テクノロジーが整っていない会議室と比較して、テクノロジーが整った会議室は**5倍**多く使用されています。

現在、平均的な会議室の利用率はわずか**30%**です。他の**70%**の部屋はなぜ使用されていないのでしょうか？



ミーティングスペースで利用できるテクノロジーとその他のコラボレーションツールが会議室の用途を決定づけ、会議室の中で人々がやり取りする方法を左右します。

LogicoolのConferenceCamソリューション詳細については、以下をご覧ください：

www.logicool.co.jp/Video-Collaboration

出典：
1. 空間の利用：次のプロトタイプ http://cdn.cbre.co.th/media/research_lang_file/2286/APAC_Space_Utilisation_Sep2015.pdf
2. 従業員から部外へ http://www.bernammiller.com/content/dam/bernammiller/documents/research_topics/Collaboration_Scenario.pdf
3. コラボレーションには何が必要か <http://www.bernammiller.com/research/research-summaries/what-it-takes-to-collaborate.html>

logicool